

令和3年度事業計画

パナソニックアソシエーツ滋賀 株式会社

1 基本方針

当社は、「重度障がい者多数雇用」を目的とし、働く意志と能力を持ちながら適職や職場環境に恵まれない人々に安定した職場と雇用を確保・促進するために、滋賀県と彦根市およびパナソニック株式会社の3者による第三セクター方式によって、平成6年8月に設立された。

会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を目指す。

具体的には、障がいのある人とない人が共に協力し合い、「個人の自立・職場の自立・仕事の自立・経営の自立」の4つの自立を標榜し、みんなの幸せと会社の繁栄の実現を目指す。

2 事業計画

(1) 製造・販売事業

ア 電子回路を中心に電器機能部品の製造およびこれらの販売を行う。

イ アに付帯し、または関連する一切の事業を行う。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上を図る。

(ア) パナソニックアプライアンス社モノづくり競技大会への出場と入賞

(イ) パナソニックグループ全社モノづくり競技大会への出場と入賞

(ウ) 技能検定の合格

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀）への出場と入賞

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行う。

ウ 障がい者採用確保に向けた体制構築を行う。

(ア) パナソニックグループ内特例子会社との情報交換

(イ) 特別支援学校や就労支援機関との採用に関する連携

（『湖東地域障がい者雇用に関する連絡会議』への参画および実習受入）

(ウ) 近隣の高校での障がい者の在籍状況ヒアリングおよび会社紹介

エ 新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策を講ずる。

(ア) 車通勤者の作業着での通勤を認め、更衣室の密集を回避するなどの3密回避

(イ) 毎朝出社前に体温を測定し、出社時に記録を残すなど体調管理の徹底

(ウ) 聴覚障がい者とのコミュニケーションにポケットトーク mimi や UD トークを活用するなどの飛沫感染防止対策

(エ) すべてのドアの前に消毒液を配置、換気を行うなどの衛生対策

(オ) 原則来客を禁止するなど移動の制限

収 支 見 込

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
親 会 社 売 上 高	3,960,486	3,851,635	108,851	
売 上 高 計 (A)	3,960,486	3,851,635	108,851	
2 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費				
材 料 費 等	3,375,910	3,270,739	105,171	
消 耗 工 具 費	26,695	28,207	△ 1,512	
人 件 費	352,158	349,010	3,148	
償 却 費	74,054	75,839	△ 1,785	
そ の 他 費 用	127,581	129,187	△ 1,606	
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費 計 (B)	3,956,398	3,852,982	103,416	
3 営 業 利 益 (C)=(A)-(B)	4,088	△ 1,347	5,435	
4 営 業 外 収 益				
受 取 利 息	240	270	△ 30	
そ の 他 営 業 外 収 益	44,820	35,600	9,220	
営 業 外 収 益 計 (D)	45,060	35,870	9,190	
5 経 常 利 益 (E)=(C)+(D)	49,148	34,523	14,625	
6 税 引 前 当 期 純 利 益 (F)=(E)	49,148	34,523	14,625	
7 法 人 税 等 (G)	14,941	10,495	4,446	
8 当 期 純 利 益 (H)=(F)-(G)	34,207	24,028	10,179	

令和 2 年度 事業報告

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 事業概要

当社は、会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を推進した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、前半はほとんどの商品群で販売計画割れであったものの、後半は民生向け静電霧化装置用回路と車載向け回路を中心に販売を伸ばすとともに、住宅設備向け回路も伸びた結果、売上高については、計画比および前年度比を共に上回った。また、経常利益についても、計画比および前年度比を共に上回ることができた。

2 事業実績

(1) 製造・販売事業

電子回路を中心に電器機能部品の製造・販売を行った。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上に努めた。

(ア) パナソニックアプライアンス社モノづくり競技大会 開催中止

(イ) パナソニックグループ全社モノづくり競技大会 開催中止

(ウ) 技能検定 受験見送り

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀） 4名入賞

(オ) 新規学校卒業障がい者の入社 3名

(カ) 厚生労働省による 2020 年度ユースエール企業認定継続

(キ) 優秀勤労障害者 滋賀県知事表彰 1名受賞、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞 1名受賞

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行った。

(ア) 就業体験実習の受入 52名・日

(イ) 工場見学の受入 63名

ウ 障害者の法定雇用率見直し(2.3%)を見据え障がい者採用増に向けた活動を行った。

(ア) パナソニック内特例子会社との障がい者雇用に関する意見交換会実施

(イ) 湖東地域障がい者雇用に関する連絡会議への参画

(ウ) 近隣の高校・大学での障がい者在籍状況等について、先生と情報交換実施

11校を訪問し、新規採用に結び付けた。

エ 新型コロナウイルス感染症に対する安全職場対策を講じた。

(ア) 車通勤者の作業着での通勤を認め、更衣室の密集を回避するなどの3密回避

(イ) 毎朝出社前に体温を測定し、出社時に記録を残すなど体調管理の徹底

(ウ) 聴覚障がい者とのコミュニケーションにポケットトーク mimi や UD トークを活用するなどの飛沫感染防止対策

(エ) すべてのドアの前に消毒液を配置、換気を行うなどの衛生対策

(オ) 緊急事態宣言時には自宅待機あるいは近隣ホテルからの通勤とし、公共交通機関での通勤を禁止するなど移動の制限

損 益 計 算 書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月 31日

(単位 千円)

科 目	金 額
売 上 高	3,864,953
売 上 原 価	3,812,773
売 上 総 利 益	52,180
販売費および一般管理費	17,513
営 業 利 益	34,667
営 業 外 収 益	50,898
(その他営業外収益)	(30,450)
営 業 外 費 用	640
経 常 利 益	84,925
税 引 前 当 期 純 利 益	84,925
法 人 税 等	30,037
法 人 税 等 調 整 額	△ 1,994
当 期 純 利 益	56,882

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	1,070,310	流動負債	631,602
現金および預金	6,358	買掛金	463,598
売掛金	431,000	未払金	0
仕掛品	53,537	未払費用	101,245
原材料・貯蔵品	84,179	未払法人税	16,059
未収入金	41,708	未払消費税	26,132
連結預け金(預金)	453,510	預り金	262
前払費用	18	賞与引当金	24,306
固定資産	463,263	固定負債	31,093
有形固定資産	453,870	退職給付引当金	31,093
建物	50,776		
構築物	309		
機械装置	400,870	負債合計	662,695
工具器具備品	1,915		
無形固定資産	145	純資産の部	
施設利用権	145	株主資本	870,878
投資その他資産	9,248	資本金	50,000
繰延税金資産	9,248	利益剰余金	820,878
		特別償却積立金	12,838
		圧縮記帳積立金	21,011
		繰越利益剰余金	787,029
		(うち当期純損益)	(56,882)
		純資産合計	870,878
資産合計	1,533,573	負債純資産合計	1,533,573

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。